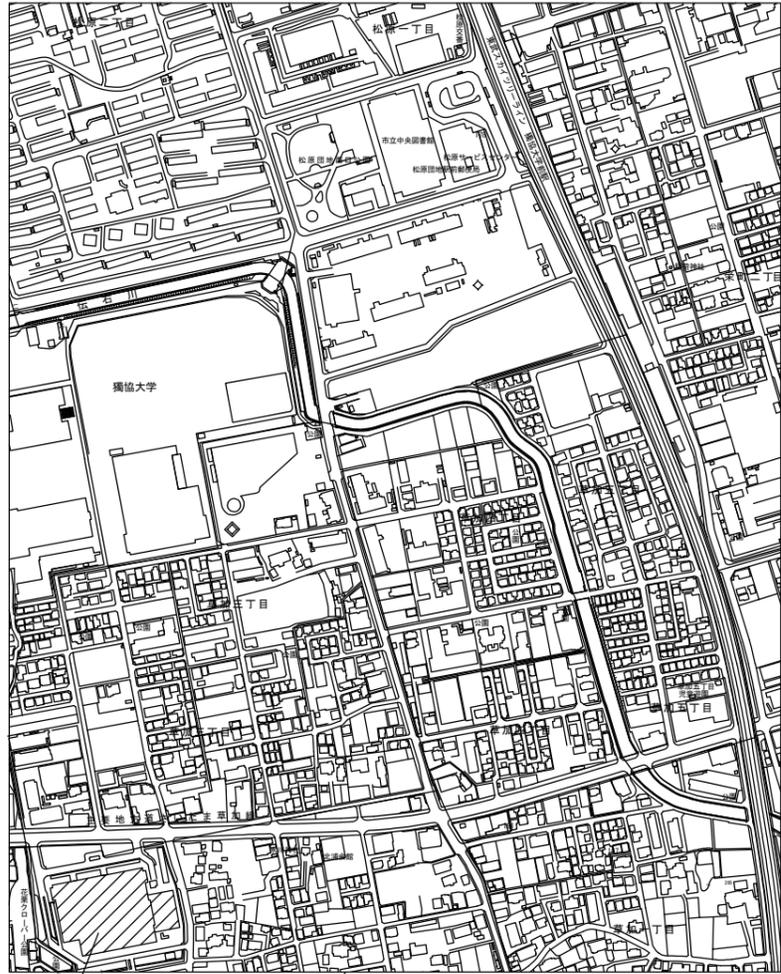


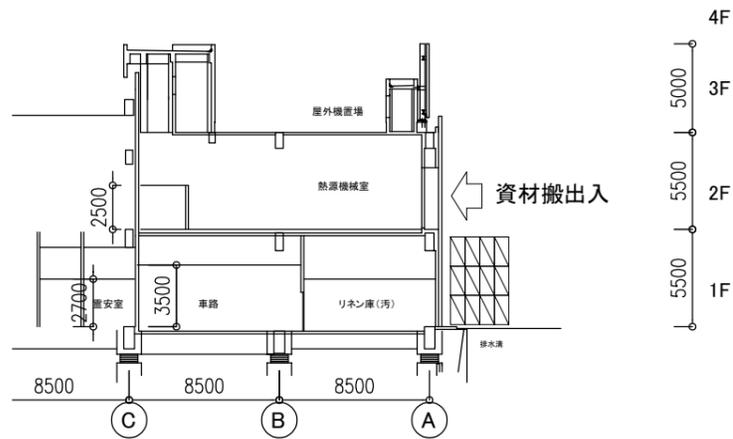
特記仕様書		項目	特記事項
<b>I 工事概要</b> 1 工事名称 草加市立病院蒸気ボイラー更新工事 2 工事場所 草加市草加二丁目21番1号 草加市立病院 3 工事種目 機械設備改修工事 一式 電気設備改修工事 一式 4 工期 契約期による。 施設を利用しながらの工事となるため、作業時間は昼間及び夜間とする。		17) 条件明示事項 18) 建設機械 19) 工事を中止する場合の安全対策 20) その他	火災保険等 原則として、排出ガス対策型、低騒音型及び低振動型を使用すること。なお、建設機械の借入に当たっては、市内業者を優先的に配慮するよう努めるものとする。 草加市建設工事請負契約約款第20条の規定及びその他の理由で工事を中止する場合は、受注者の責務において工事用地等の安全を確保するものとする。 (1)受注者は、受注時又は変更時の工事請負金額が500万円以上の工事について、受注・変更・竣工・訂正時に工事実績データを作成し、監督員の確認を受け工事実績情報システム(CORINS)に登録申請しなければならない。 [受注時は契約日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内、変更時は登録内容の変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内、竣工時は完成日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内、訂正時は速やかに登録申請しなければならない。なお、変更時と竣工時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録を省略できる。] また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写しを速やかに監督員に提出しなければならない。 (2)草加市環境マネジメントシステムに基づく取組に協力すること。 (3)個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。 (4)草加市政における公正な職務執行の確保に関する条例(平成19年条例第16号)第6条及び草加市が締結する契約からの暴力団排除措置要綱(平成8年告示第155号)第9条の規定に基づき、次の事項を遵守すること。 ア. 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは被害が発生するおそれがある場合は、市長に報告するとともに、所轄の警察署に通報すること。 イ. 受注者は、市及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。 (5)受注者は、下請業者がいる場合は建設業退職金共済制度に基づき、建設業退職金共済証紙購入状況報告書及び実績報告書を提出すること。また、現場事務所、工事現場の出入口の見やすい場所に適用標識(シール)を掲示すること。 ただし、下請業者がこれと同等の制度などに加入している場合は除く。 (6)請負代金額4,000万円(建築工事一式である場合にあっては8千万円)以上の建設工事現場に置く主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間について、次のとおりとする。 ア. 現場施工に着手するまでの期間 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。 イ. 検査終了後の期間 工事完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。 (7)業務の実施に当たっては、人権を尊重するとともに、業務に関わる者が人権に配慮することができるよう努めること。
<b>II 工事仕様</b> 1 共通仕様 この工事は、設計図面、特記仕様書及び質疑応答書に記載されていない事項は、全て次によるほか監督員の指示により施工する。 (○印の付いたものを適用する。) ・ 「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・ 「埼玉県建築工事特別共通仕様書」 ○ 「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 「埼玉県機械設備工事特別共通仕様書」 ○ 「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 「埼玉県電気設備工事特別共通仕様書」 ・ 「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) (以下「標準仕様書」という。) 2 優先順位 A 質疑応答書 B 特記事項(図面に記載された特記事項を含む。) C 設計図 D 標準仕様書(最新版) 3 特記仕様 (1) 項目は全て適用する。 (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。 (3) 製造所名は、「株式会社」等の記載は省略する。		2 仮設工事 1) 仮囲い ・ 設置しない ・ 設置する ○ その他(資材搬入出時等、必要に応じてカラーコーン+バー程度) 2) 足場その他 ・ 内部足場 ○ 設置する(脚立足場程度) ・ 外部足場 ○ 設置する(図示) 防護シート等による養生 ・ 行わない ・ 行う ※手すり先行足場 足場を設ける場合、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)による他、設置においては、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 墜落制止用器具の使用は、墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン(厚生労働省H30.6.22)による。 ・ フルハーネス型墜落制止用器具を用いる。 ・ 設置しない ○ 設置する [寸法(縦×横)1400×1100程度 色及び字体等は、十分協議の上、作成する] ・ 利用できない ○ 利用できる ( ・ 有償 ○ 無償 ) ・ 利用できない ○ 利用できる ( ・ 有償 ○ 無償 ) 工事の施工上、撤去・移設を要する軽微なものは、本工事に含む。 本工事においては、施設利用者等に対する安全に万全を期するものとし、安全上必要と思われるもの及び監督員の指示があったものは、速やかに対処すること。また、工事車両の出入口については、必要に応じ係員等を配置し、車両を誘導するものとする。	
項目	特記事項		2 仮設工事
<b>1 一般共通事項</b> 1) 適用基準等 ○ 建築工事標準詳細図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ・ 鉄骨設計標準図 (国土交通省大臣官房官庁営繕部監修) ○ 埼玉県建築工事実務要覧 2) 疑義 本工事の設計図書において疑義が生じた場合は、監督員と協議の上、決定する。 3) 設計変更 監督員と協議を行った結果、必要に応じて、草加市建設工事請負契約約款に基づき設計変更を行う。ただし、納まり等の軽微な変更は、設計変更の対象としない。 なお、草加市建設工事請負契約約款第25条で規定する請負代金額の変更協議については、設計図書の訂正又は変更に伴う変更工事価格に落札率を乗じた額で行うものとする。 4) 建築材料等 本工事に使用する材料等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。 また、グリーン購入法調達基準適合商品を優先的に採用し、工事完了後に品名・使用数量等について文書において報告すること。 なお、資材の購入に当たっては、市内業者を優先的に配慮するよう努めるものとする。 5) 関係書類 関係書類は、草加市の様式とする。部数については、協議の上、決定する。 6) 工程表・施工計画書 着工に先立ち、全体工程表及び施工計画書を作成し、監督員の承諾を受けてから施工する。 7) 色柄 色柄等は、監督員の承諾を受けてから施工する。 8) 発生材の処理等 ○ 場外搬出適正処理 ・ 引渡しを要するもの図示 注 a) 発生材のうち特記により、引渡しを要するものは、指示された場所に整理の上、調書を添えて監督員に報告する。 b) 産業廃棄物処理許可書及び最終処理受入票の写しを提出する。 c) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、「資源の有効な利用の促進に関する法律」「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等に従い適切に処理し、監督員に報告する。 d) コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の切断作業を行う場合は、濁水を吸引の上、タンクに貯留し、作業終了後速やかに排水を処理施設へ運搬処分する。 e) 建設副産物情報交換システム(通称「COBRIS」)に入力を行い、施工計画作成時に、「再生資源利用計画書」「再生資源利用促進計画書」及び「工事登録証明書」、完了時に「再生資源利用実施書」「再生資源利用促進実施書」及び「工事登録証明書」を提出すること。 f) 受注者は、500m3以上の建設発生土を搬出する場合は、「埼玉県土砂の排出、たい積等の規制に関する条例(埼玉県土砂条例)」に基づき、土砂排出届出書を受理担当機関へ提出するものとする。 g) 受注者は、100m3以上の建設発生土を草加市外に搬出する場合は、搬出前に搬出先市町村の担当窓口宛てに、搬出先市町村が定めた様式による、「建設発生土搬出のお知らせ」を郵送・FAX等で提出し、その写しを施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。 規格品(JIS・JAS)がある材料は優先的に使用する。なお、規格品の改訂及び変更が生じた場合は、監督員と協議する。 9) 規格品等 10) 協力業者の選定 協力業者は、市内業者を優先的に配慮するよう努めるものとする。 11) 養生 既存部分で汚染又は損傷のおそれのあるものは、適切な方法で養生を行う。損傷を与えた場合は速やかに監督員に報告するとともに、受注者の責任において、復旧工事を行うこと。 12) 諸官庁届出 本工事に係わる諸官庁への届出は速やかに行うこと。なお、諸費用は本工事に含むものとする。 13) 完成図等 完成図[黒表紙、金文字で原寸A4折製本] 部数 ( 部) ○ 作成しない ・ 作成する 完成図[黒表紙、金文字で原寸二つ折り製本] 部数 ( 部) ○ 作成しない ・ 作成する 完成図[黒表紙、白文字で二つ折り製本(サイズA3縮小版)] 部数 ( 2部) ・ 作成しない ○ 作成する 完成図[電子媒体(CD-R又はDVD-R)にCADデータ+PDF形式データを記録したもの一式] ( 1部) ・ 作成しない ○ 作成する 保全に関する資料 ・ 提出しない ○ 提出する 部数 ( 1部) 完成写真 ○ 提出しない ・ 提出する 部数 ( 部) サイズ (カラーサービス版) (黒表紙、金文字) なお、これら完成図等については、工事完成後速やかに提出すること。 14) 写真 工程写真 着工前及び工程順に撮影し、整理後提出する。 部数 ( 1部) サイズ (カラーサービス版) 15) 設計GL ・ 図示 ○ 設計GL=現況GL ・ その他(設計GL=KBM) 16) 電気保安技術者 ・ 適用する	3 改修工事 1) 施工等 1. 本工事を実施するに当たり、施設現場を詳細に調査し施工計画書・施工図等を作成し承諾を得てから施工すること。なお、計画に当たり、病院事業に極力支障が生じない方法で調整及び検討を行い、支障が生じる作業は、開院日を除く土曜日、日曜日、祝祭日及び夜間作業を基本とすること。また、機器更新に当たり、既設ボイラー設備の稼働に支障をきたさないように施工計画を検討すること。 2. 本工事に先立ち、施設関係者に対して十分な説明を行うこと。また、施工後の取扱方法についても、十分な説明を行うこと。 3. 工事範囲内において、工事に必要な養生・清掃等は、本工事に含むものとする。 4. 本工事に係わる諸官庁への届出(ばい煙、労基等)は速やかに行うこと。なお、諸費用は本工事に含むものとする。		

設計年月	工事名	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事 (設計図)	縮尺	図面番号
令和7年(2025年)4月			NO SCALE	M-01
草加市立病院 事務部施設管理課	特記仕様書			

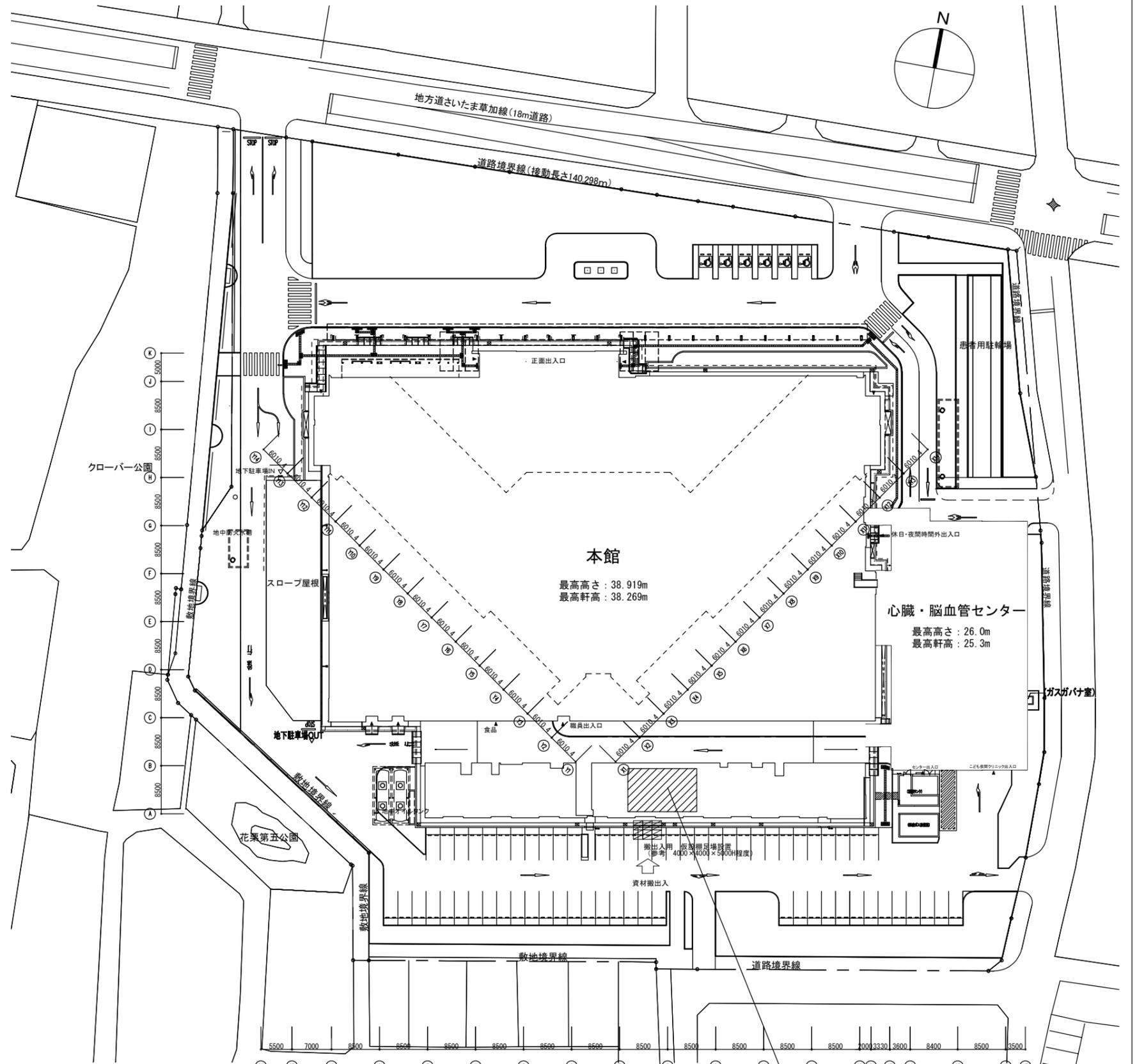


工事場所：草加市草加二丁目2番1号（草加市立病院）

案内図 S : NoScale



7-8通り間断面図(S:1/400)



配置図・仮設計画図（参考図）S : 1/800

- <注記>
- 作業区画、通行制限等を行う際には、施設関係者の承諾を受け、来院者の車両誘導を行うこと。
  - 資材搬入搬出時には、係員等を配置し、安全を確保すること。
  - 工事車両の駐車については原則、病院敷地外とする。
  - 仮設計画図は参考とする。

設計年月	令和7年(2025年)4月	工事名	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事	(設計図)
図面名称	草加市立病院 事務部施設管理課	図面番号	案内図・配置図・仮設計画図	縮尺
				図示(A3)
				図面番号 M-02

撤去機器表

機器番号	機器名称	設置階数	台数	機器仕様	電動機(50HZ)					インテーク・送風機	遠方警報	防振装置	備考		
					動力	相数	電圧	極数	起動方式						
B-1	蒸気ボイラー (既設のまま)	2	1	過熱回収型ガス焚費流ボイラー(蒸気) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 8.42 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 燃料消費量 109.0 Nm <sup>3</sup> /h ドラフトコントローラ、消音器(1000L、減音量-10dB) 他付属品一式共	8.7	3	200	-	直入	-	-	-	150		
B-3	蒸気ボイラー (撤去)	2	1	ガス焚費流ボイラー(蒸気) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 9.9 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 燃料消費量 120.2 Nm <sup>3</sup> /h 付属品他一式共	15.1kVA	3	200	-	直入	-	-	-	150	P 三浦工業 SI-2000ZH	
B-4	蒸気ボイラー (撤去)	2	1	ガス焚費流ボイラー(蒸気) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 9.9 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 燃料消費量 120.2 Nm <sup>3</sup> /h 付属品他一式共	15.1kVA	3	200	-	直入	-	-	-	150	P 三浦工業 SI-2000ZH	
B-5	蒸気ボイラー	2	1	ガス焚費流ボイラー(蒸気)(ガス・油切換) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 9.9 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料ガス 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 油 灯油 (43.5MJ/kg) 燃料消費量 120.2 Nm <sup>3</sup> /h(ガス) 142.5 L/h(油) 付属品他一式共	16.2kVA	3	200	-	直入	非	-	-	150	P 三浦工業 GC-2000H	
EP-1	ボイラ台数制御盤 (撤去)	2	1	ボイラ用台数制御盤 制御内容 台数制御(起動、停止) 負荷配分(高低燃焼切換)自動ローテーション	300VA	1	200	-	-	○	-	-	-	-	
CW-3	硬水軟化装置 (ボイラ用) (既設のまま)	2	1	自動軟水装置 処理水量 14 m <sup>3</sup> /H イオン交換樹脂量 280L 制御盤、再生薬水槽	100W	1	100	-	直入	-	-	-	○	150	-

新設機器表

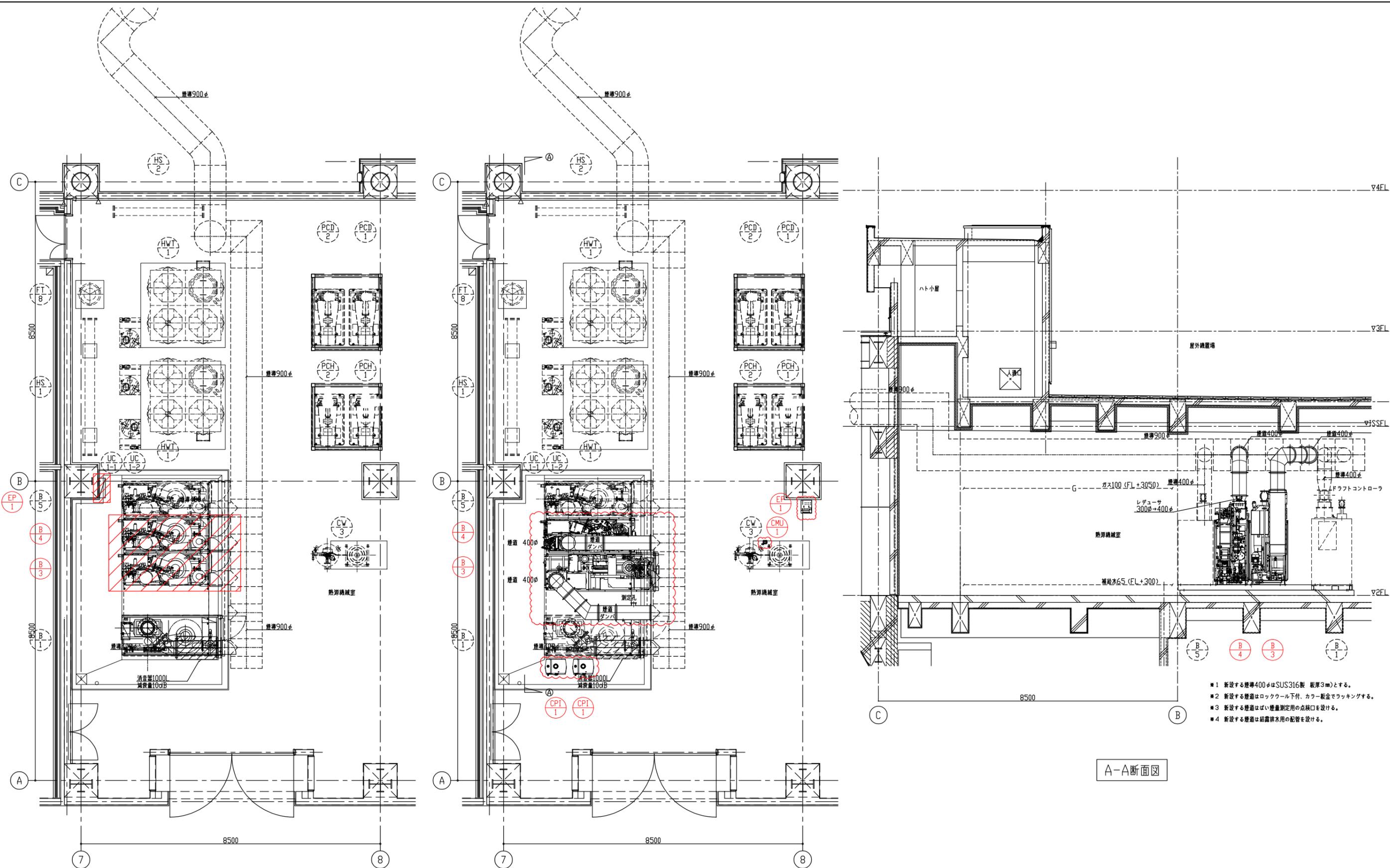
機器番号	機器名称	設置階数	台数	機器仕様	電動機(50HZ)					インテーク・送風機	遠方警報	防振装置	備考		
					動力	相数	電圧	極数	起動方式						
B-1	蒸気ボイラー (既設のまま)	2	1	過熱回収型ガス焚費流ボイラー(蒸気) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 8.42 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 燃料消費量 109.0 Nm <sup>3</sup> /h ドラフトコントローラ、消音器(1000L、減音量-10dB) 他付属品一式共	8.7	3	200	-	直入	-	-	-	150		
B-3	蒸気ボイラー (新設)	2	1	過熱回収型ガス焚費流ボイラー(蒸気) 常温給水仕様 常用圧力 0.49 MPa ボイラ効率 102 % 換算蒸発量 3 t/h 伝熱面積 9.91 m <sup>2</sup> 発熱量(熱出力) 1,881 kW 燃料 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 高速多位置制御 中圧仕様 燃料消費量 163.5 Nm <sup>3</sup> /h 煙道ダンパ 付属品他一式共	14.55	3	200	-	直入	-	-	-	150	P 参考型番 SQ-3000AS-A2	
B-4	蒸気ボイラー (新設)	2	1	ガス焚費流ボイラー(蒸気)(ガス・油切換) 常温給水仕様 常用圧力 0.49 MPa ボイラ効率 97 % 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 9.90 m <sup>2</sup> 発熱量(熱出力) 1,254 kW 燃料ガス 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 高速多位置制御 中圧仕様 油 灯油 (43.5MJ/kg) 多位置制御 燃料消費量 114.6 Nm <sup>3</sup> /h(ガス) 133.7 L/h(油) 煙道ダンパ 付属品他一式共	11.15	3	200	-	直入	非	-	-	150	P 参考型番 GC-2000AS	
B-5	蒸気ボイラー (設置) (更新後機器接続線切り取り)	2	1	ガス焚費流ボイラー(蒸気)(ガス・油切換) 常用圧力 0.49 MPa 換算蒸発量 2 t/h 伝熱面積 9.9 m <sup>2</sup> 発熱量 1,250 kW 燃料ガス 13A (40.6MJ/Nm <sup>3</sup> ) 中圧仕様 油 灯油 (43.5MJ/kg) 燃料消費量 120.2 Nm <sup>3</sup> /h(ガス) 142.5 L/h(油) 付属品他一式共	16.2kVA	3	200	-	直入	非	-	-	150	P 三浦工業 GC-2000H	
EP-1	ボイラ台数制御盤 (新設)	2	1	ボイラ用台数制御盤 制御内容 台数制御(比例分配制御) 自動ローテーション 燃焼優先制御(効率優先, 応答優先, 基本優先切換) 制御パターン設定・選択機能 選周プログラム連携機能 燃焼優先制御(効率優先, 応答優先, 基本優先切換) 水処理拡張中継ユニット内蔵(通信中継)	850VA	1	200	-	-	○	-	-	-	-	
CMU-1	硬水漏れ警報装置 (新設)	2	1	硬水漏れ警報装置 軟水 比色式判定法	15W	1	100	-	-	○	-	-	-	参考型番 CMU-324H	
CPI-1	薬注装置 (新設)	2	2	薬注装置 ボイラ個別薬注用(単注用)	154VA	1	200	-	-	○	-	-	-	参考型番 CP-30A-125	
CW-3	硬水軟化装置 (ボイラ用) (既設のまま)	2	1	自動軟水装置 処理水量 14 m <sup>3</sup> /H イオン交換樹脂量 280L 制御盤、再生薬水槽	100W	1	100	-	直入	-	-	-	○	150	-

【注記】・ボイラーの更新に伴い、既設ボイラーが全台数停止となる作業については、病院業務に支障が生じない時間帯に行うものとする。

・工事期間中はB-1、B-5ボイラー2台で運用するものとし、B-3、B-4ボイラー更新後、本工事においてB-5ボイラーを停止し、機器接続線切り取り処理(煙道フランジ止め、各配管プラグ止め、各配線の切り離し)を行う。

また、B-4ボイラー試運転時、B-5ボイラーは既設盤空開閉器を利用して運転するものとする。

・撤去ボイラーのパッキン等、アスベスト含有物として処分を行うこと。(レベル3相当)



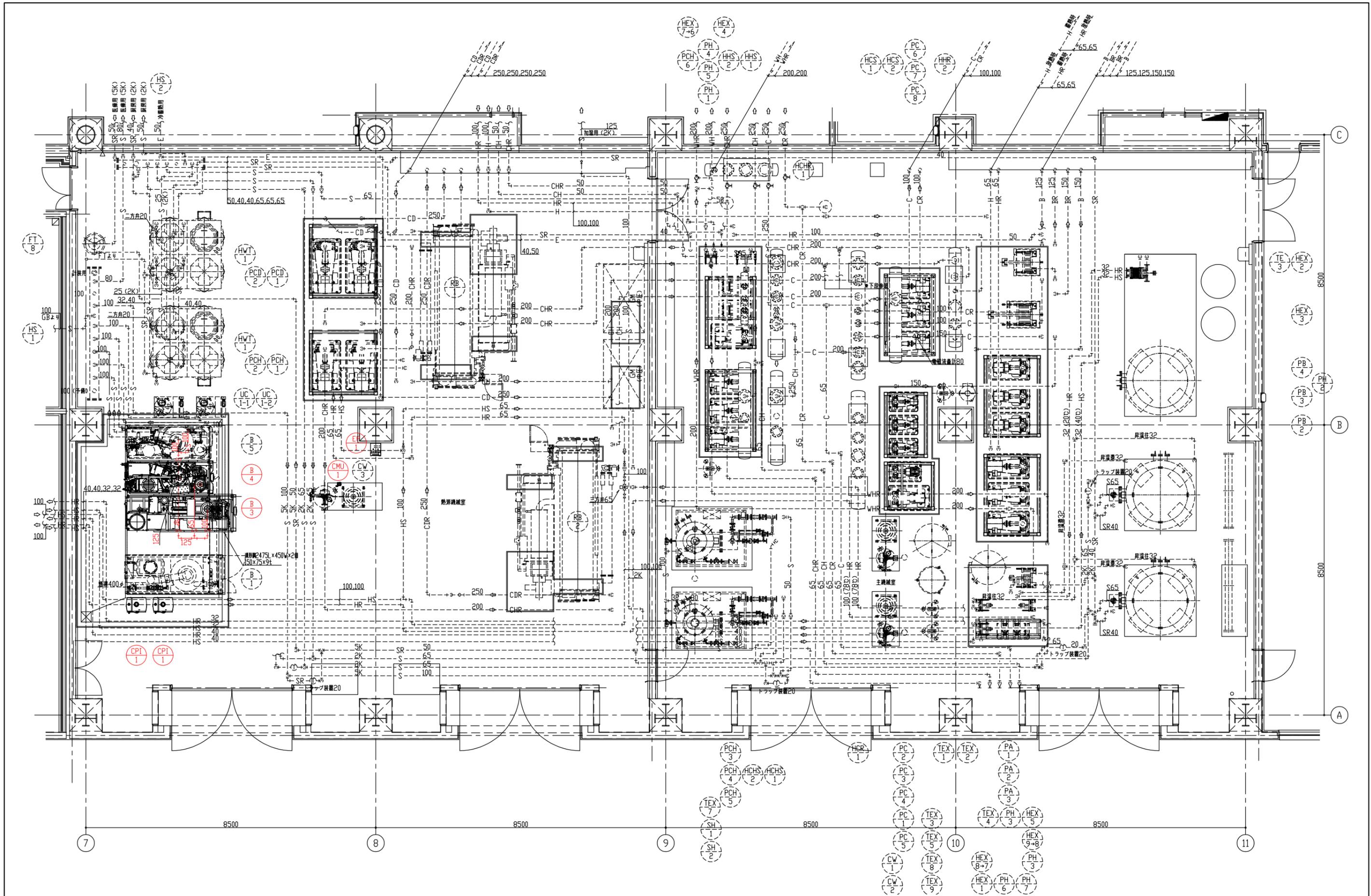
- ※1 新設する煙導400φはSUS316製 板厚3mmとする。
- ※2 新設する煙導はロックワール下付、カラー板金でラッキングする。
- ※3 新設する煙導はばい煙量測定用の点検口を設ける。
- ※4 新設する煙導は結露排水用の配管を設ける。

A-A断面図

注記 1)   は、撤去   は、新設 機器及び煙導を示す。  
 2)   は、既設機器及び煙導を示す。  
 3)   は、煙導接続箇所を示す。

設計年月	令和7年(2025年)4月	工事名	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事	(設計図)
図面名称	草加市立病院 事務部施設管理課	図面番号	空気調和設備 煙導ダクト機械室詳細図(撤去・新設)	縮尺 1:100 (A3) 図面番号 MA-02

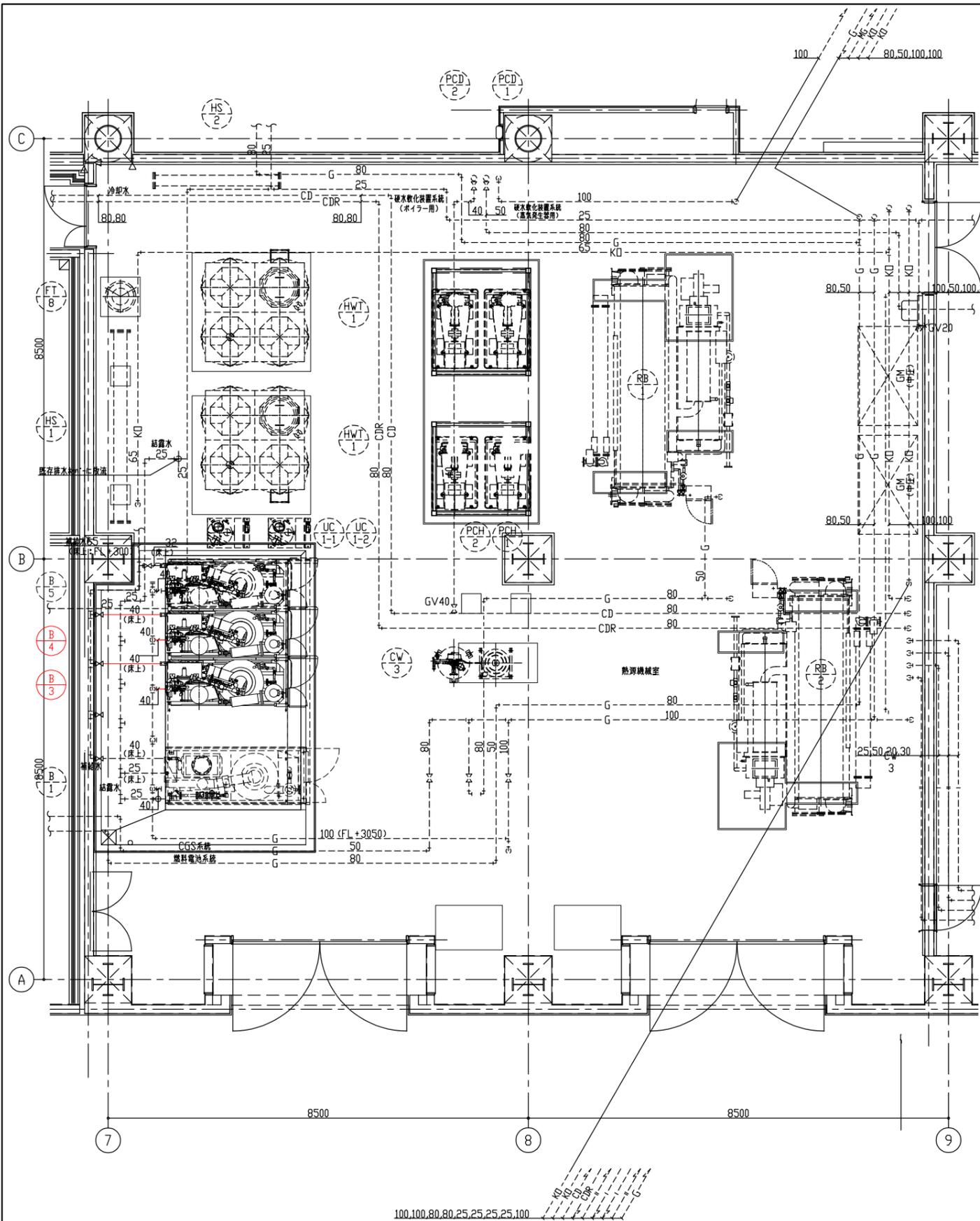




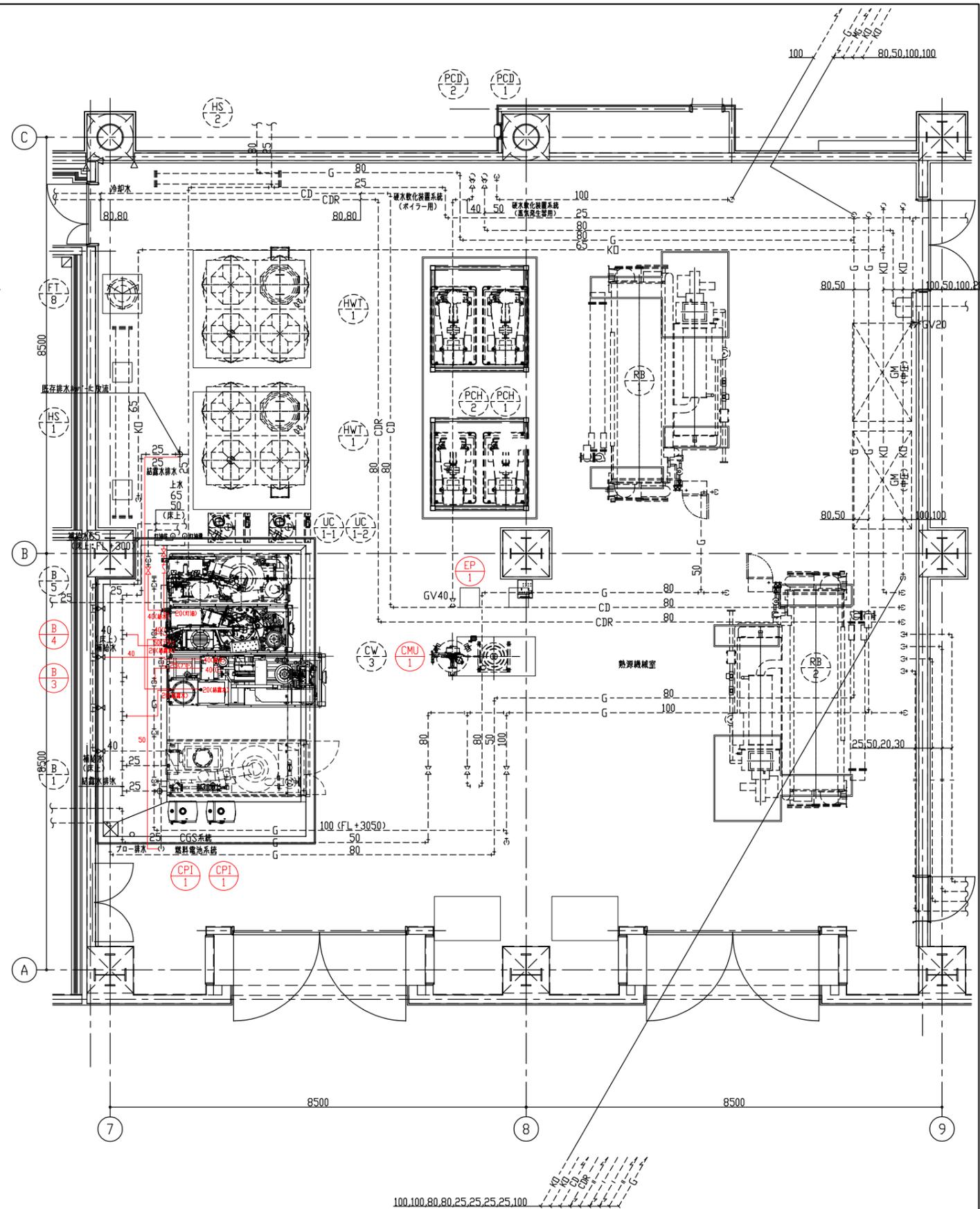
- 注記 1) 明記なき配管は、天井配管を示す。  
 2) — は、配管機器及び配管を示す。  
 3) - - - は、配管機器及び配管を示す。  
 4) — は、配管機器を示す。

設計年月	工事名	図面番号	縮尺	図面番号
令和7年(2025年)4月	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事	MA-04	1:100 (A3)	MA-04
草加市立病院 事務部施設管理課	空調設備 蒸気配管機械室詳細図(新設)			

(設計図)



撤去詳細図



新設詳細図

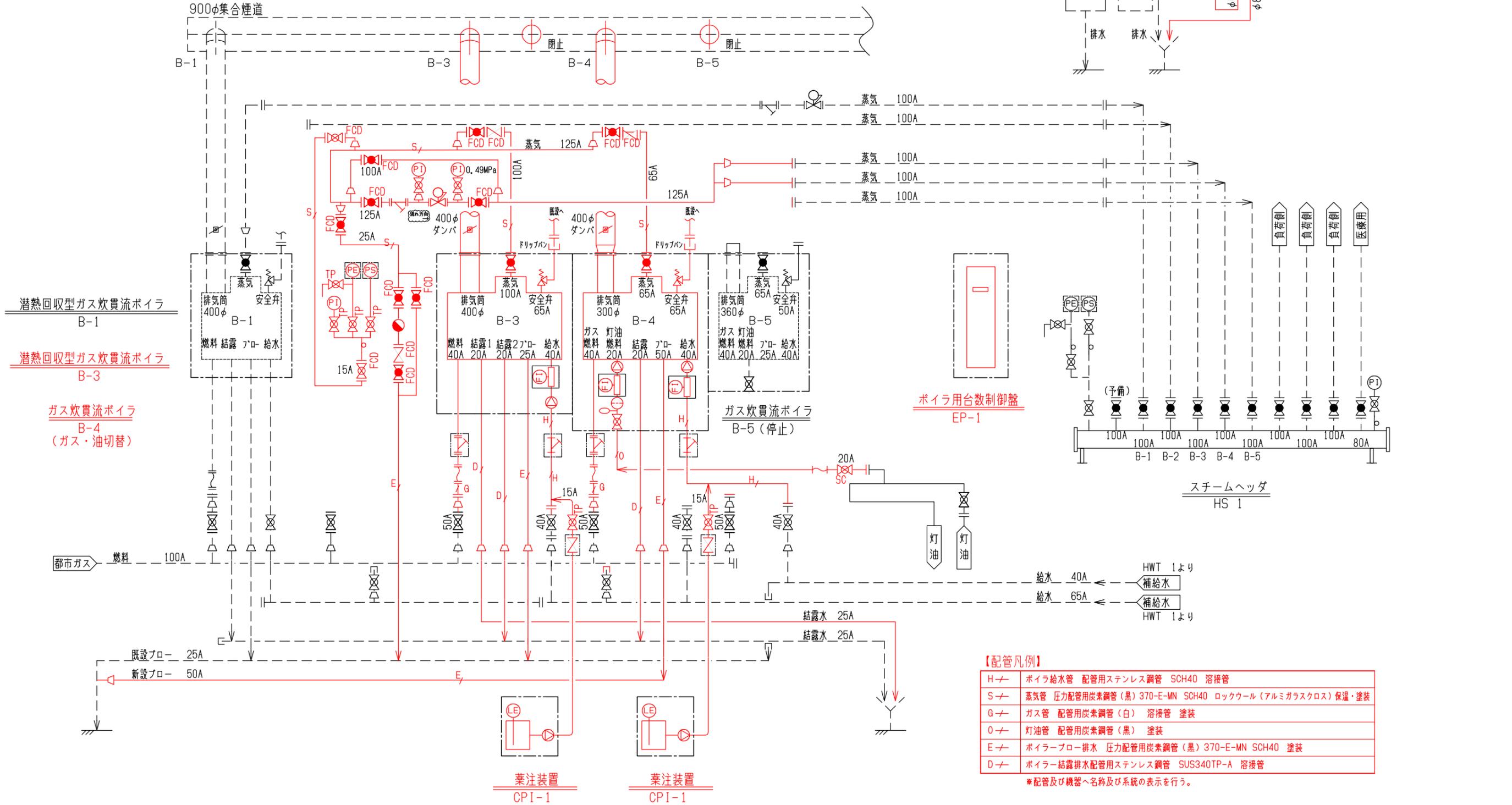
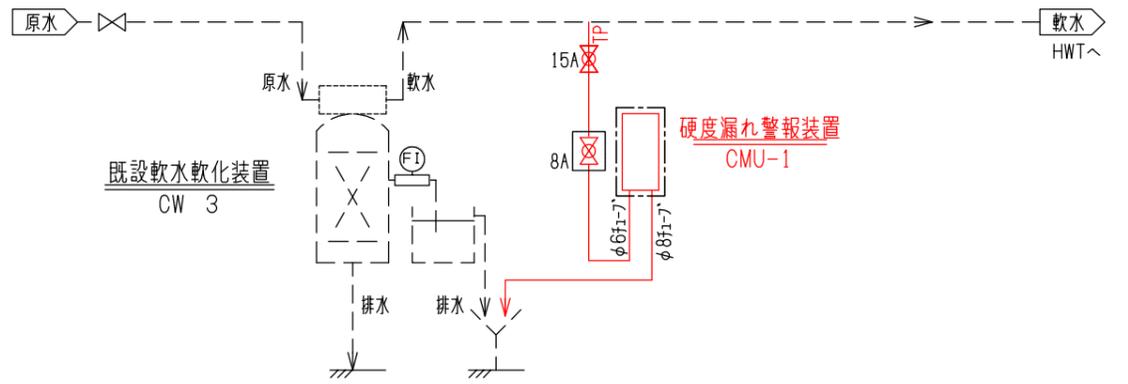
- 注記 1) 明記なき配管は、天井配管を示す。  
 2) 破線は、撤去又は新設機械及び配管を示す。  
 3) 点線は、新設機械及び配管を示す。  
 4) 赤線は、配管切断箇所を示す。

設計年月	工事名	(設計図)
令和7年(2025年)4月	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事	
草加市立病院 事務部施設管理課	図面名称	図面番号
	空調設備 給排水、ガス、灯油配管機械室詳細図(撤去、新設)	MA-05
	縮尺	1:100 (A3)

【バルブ類凡例】

バルブ一般	三方弁	コントロールバルブ	圧力指示計	フランジ
仕切弁	安全弁	Y型ストレーナ	圧力スイッチ	ユニオン
玉型弁	電磁弁	フレキシブルチューブ	圧力センサー	レジューサ
逆止弁	電動弁	サイトグラス	レベルセンサー	キャップ(上段:ねじ込み) (下段:溶接)
ボール弁	空気作動弁	スチームトラップ		プラグ
バタフライ弁	圧力調整弁	ポンプ		サイフォン管

\*弁類の材質は記号による。(TP:一般配管用ステンレス鋼製、FCD:ダクタイル鉄製、SC:鋳鉄製)



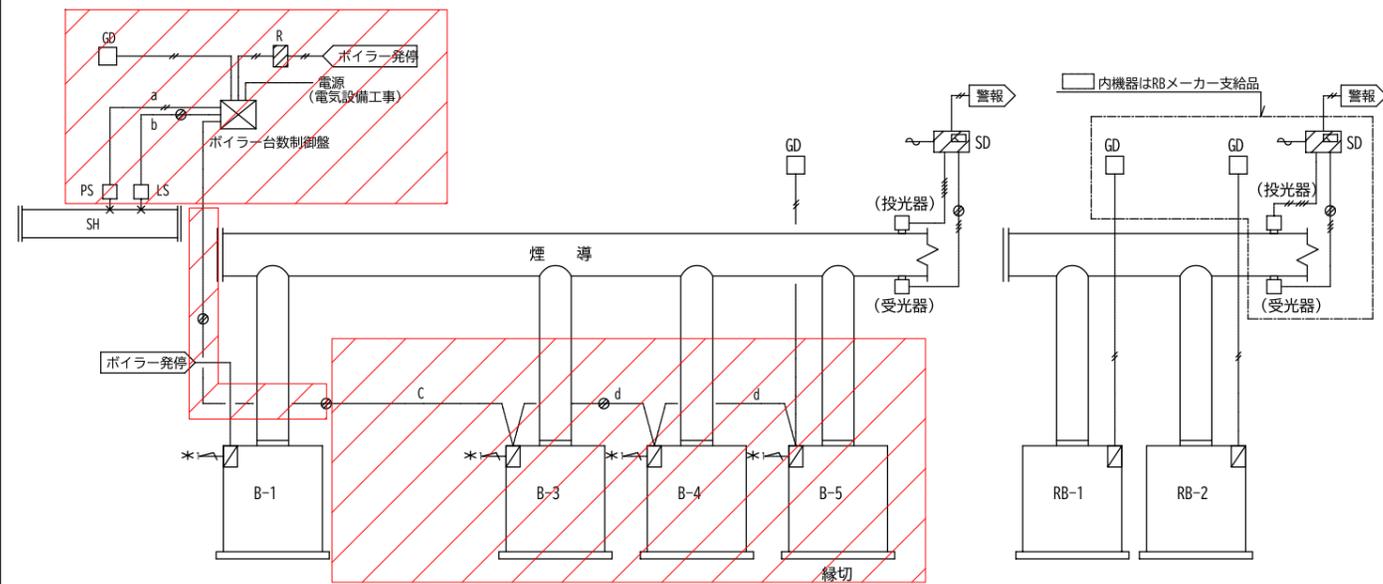
【配管凡例】

H+	ボイラ給水管 配管用ステンレス鋼管 SCH40 溶接管
S+	蒸気管 圧力配管用炭素鋼管(黒) 370-E-MN SCH40 ロックワール(アルミガラスクロス)保温・塗装
G+	ガス管 配管用炭素鋼管(白) 溶接管 塗装
O+	灯油管 配管用炭素鋼管(黒) 塗装
E+	ボイラブロー排水 圧力配管用炭素鋼管(黒) 370-E-MN SCH40 塗装
D+	ボイラ結露排水配管用ステンレス鋼管 SUS340TP-A 溶接管

\*配管及び機器へ名称及び系統の表示を行う。

注記 1) 明記なき配管は、天井配管を示す。  
2) 赤線は、新設機器及び配管を示す。  
3) 黒線は、既設機器及び配管を示す。  
4) 赤線は、配管接続箇所を示す。

熱源廻り制御（更新前）



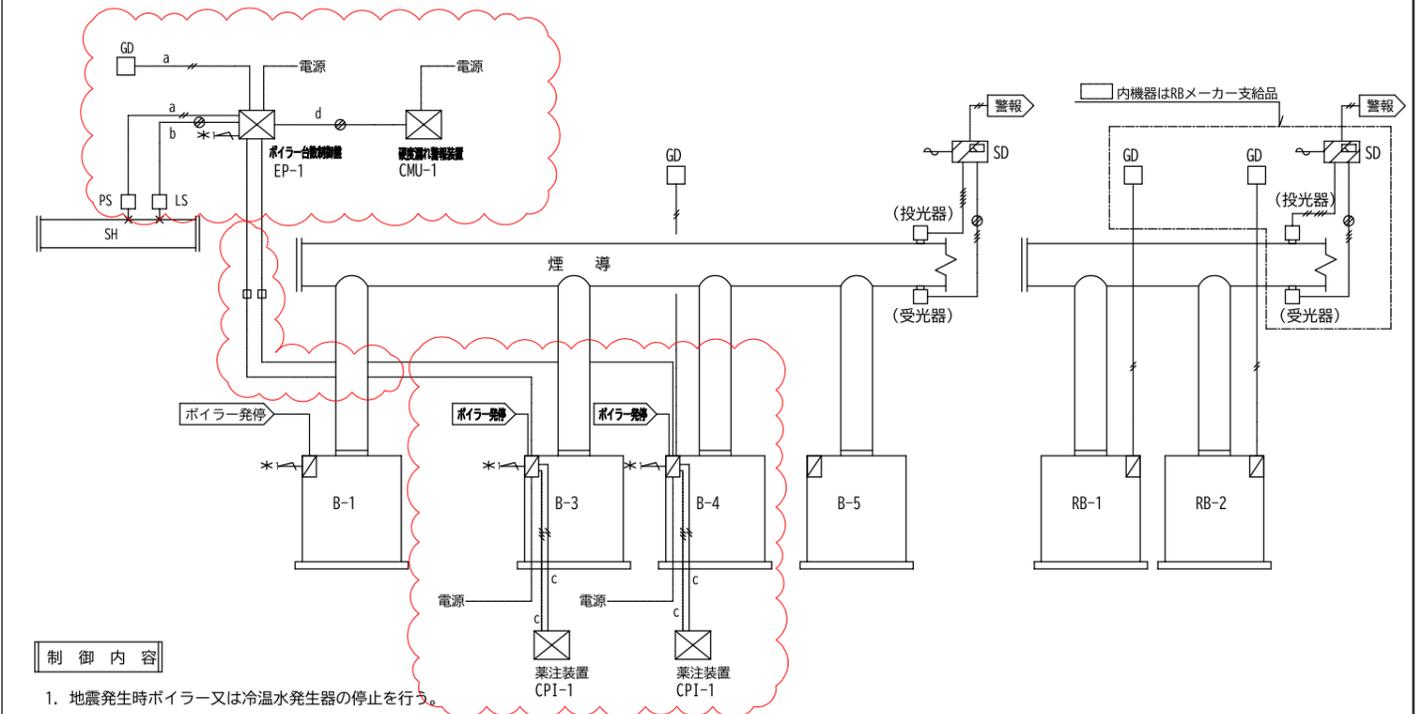
制御内容

- 地震発生時ボイラー又は冷温水発生機の停止を行う。
- 排煙濃度計にて煙道の排煙濃度監視を行う。

【凡例】

- \* : 状態、警報
- a : CVV 1.25sq-2C PS □ : 圧カスイッチ
- b : CVV-S 1.25sq-2C LS □ : 圧カセンサ
- c : CVV1.25sq-2C GD □ : 感震器
- d : FCPEV 0.9-1P SD □ : 排煙濃度計
- 撤去

熱源廻り制御（更新後）



制御内容

- 地震発生時ボイラー又は冷温水発生機の停止を行う。
- 排煙濃度計にて煙道の排煙濃度監視を行う。

【凡例】

- \* : 状態、警報
- : cat5 シールド付LANケーブル(E19) PS □ : 圧カスイッチ
- a : EM-CEE 1.25sq-2C (E19) LS □ : 圧カセンサ
- b : EM-CEE-S 1.25sq-2C (E19) GD □ : 感震器
- c : 機器付属ケーブル (E25) SD □ : 排煙濃度計
- d : EM-FCPEE-S 0.9-1P (E19)
- 新設

中央入出力管理点一覧表（更新前）

記号	名称	リモート盤	動力盤	取合	操作			表示			計測				計量	備考
					設定	切換	発停	状態	COS 故障	トリップ 故障	警報	温度	湿度	アナログ		
B-1	ボイラー No. 1	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
B-3	ボイラー No. 2	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
B-4	ボイラー No. 3	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
B-5	ボイラー No. 5	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
	ボイラー用煤煙濃度警報	CP-2-2S	-	DGP												○
	冷温水発生機用煤煙濃度警報	CP-2-2S	-	DGP												○

機器接続線切り閉止のため、リモート盤の離線処理

中央入出力管理点一覧表（更新後）

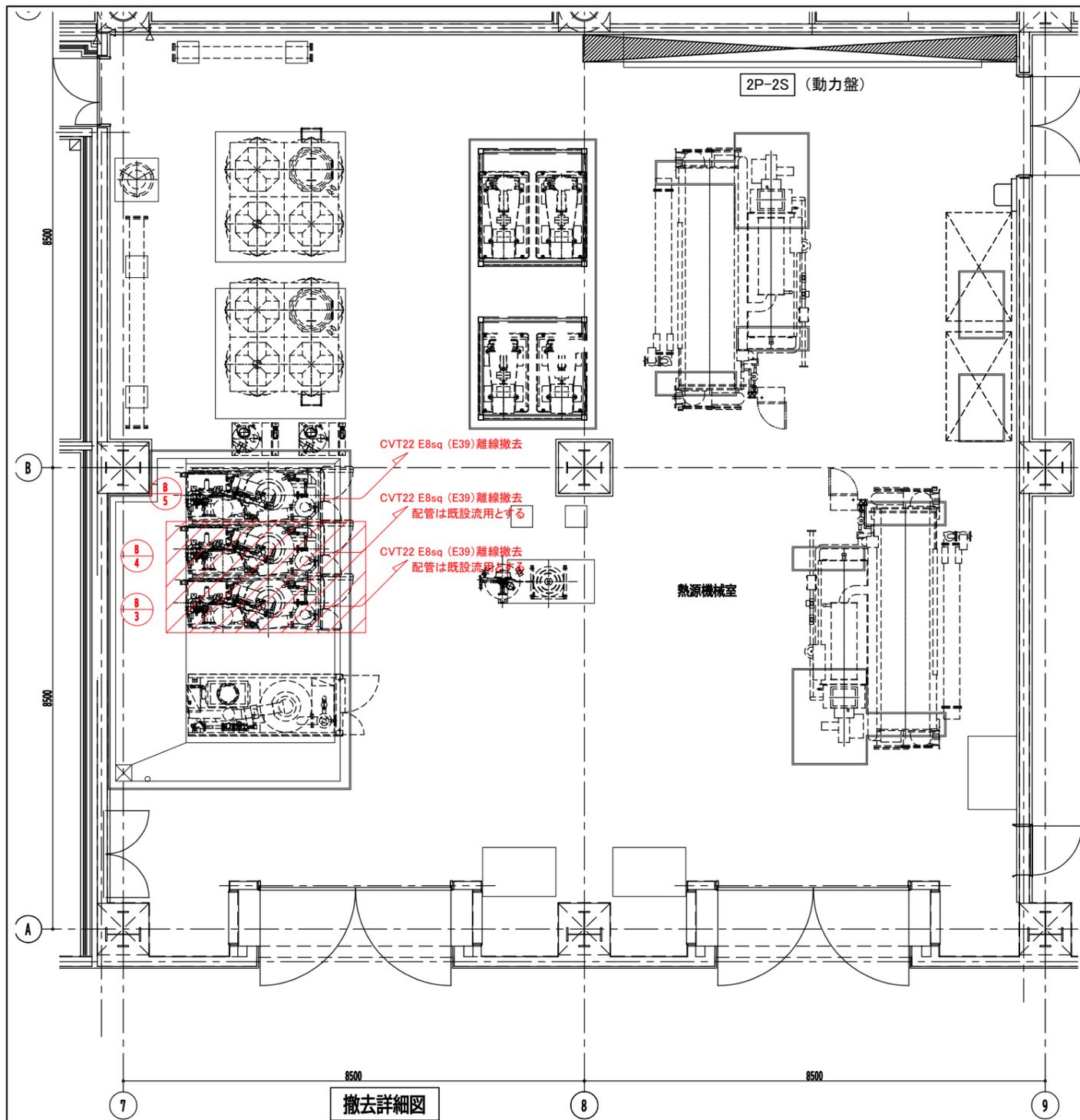
記号	名称	リモート盤	動力盤	取合	操作			表示			計測				計量	備考
					設定	切換	発停	状態	COS 故障	トリップ 故障	警報	温度	湿度	アナログ		
B-1	ボイラー No. 1	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
B-3	ボイラー No. 2	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
B-4	ボイラー No. 3	CP-2-2S	本体	DGP			○	○	○							
	ボイラー用煤煙濃度警報	CP-2-2S	-	DGP												○
	冷温水発生機用煤煙濃度警報	CP-2-2S	-	DGP												○

配線接続替え

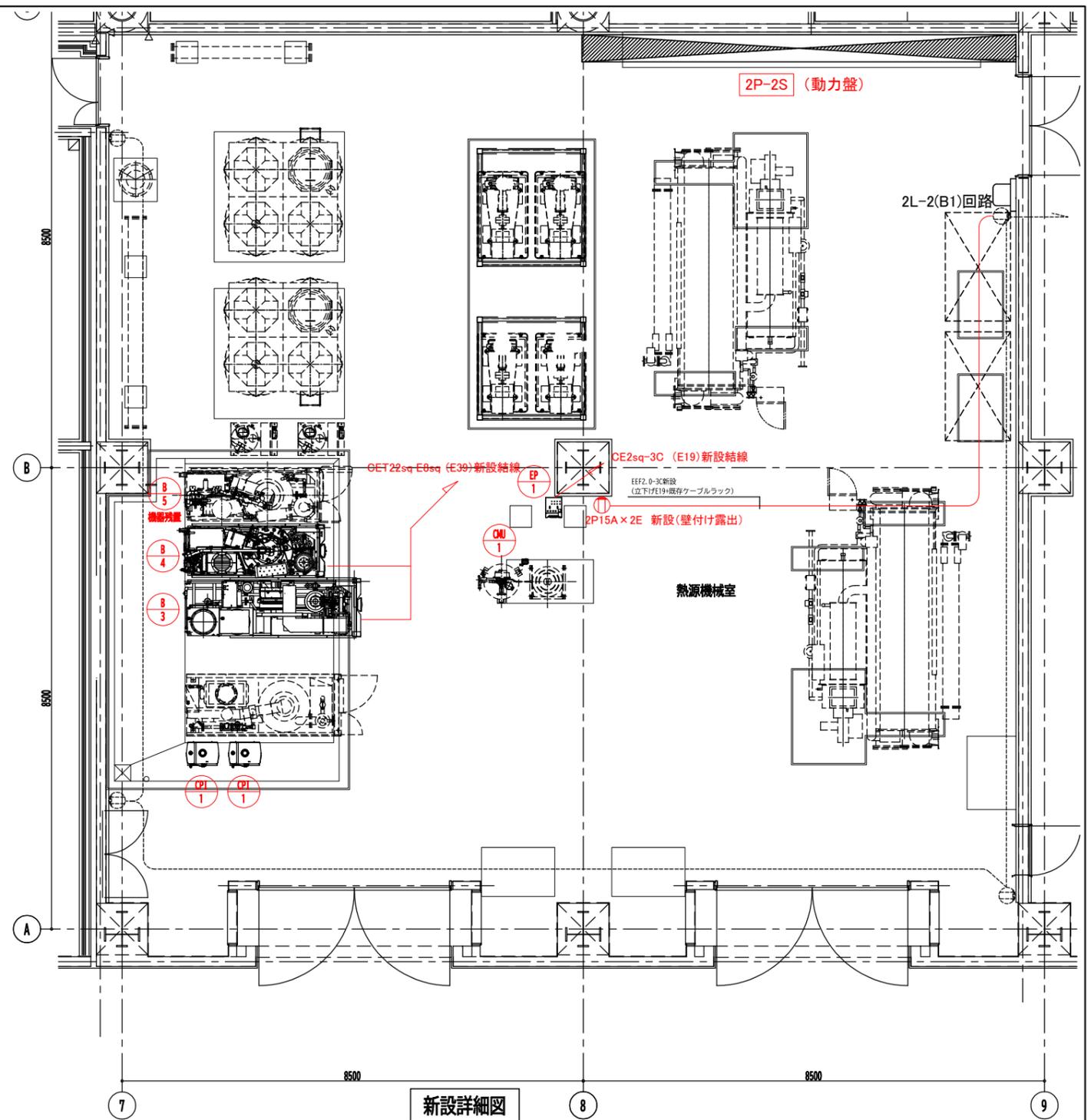
【自動制御設備工事概要】

- 既設ボイラー廻り配線の撤去、盛替え
- 新設ボイラーへの配線・配管
- 既設盤（CP-2-1S）配線接続替え
- ボイラメーカーとの対向確認

設計年月	工事名	草加市立病院蒸気ボイラー更新工事	図面番号	縮尺	図面番号
令和7年(2025年)4月	草加市立病院 事務部施設管理課				
自動制御設備-計装図			1:100 (A3)		



撤去詳細図



新設詳細図

更新前

制御盤名称	記号	電圧	電流	電機設備記号	負荷名称
【2P-2S】 AC400V R19 一機出力No. 2 CVT22n	1-3	75	B1	熱源機室用ボイラー	
	1-3	75	B1	熱源機室用ボイラー	
	1-2	30	B1	ボイラー制御盤	
	1-3	30	B1	熱源機室用ボイラー制御盤	
AC400V R19 一機出力No. 2 CVT22n	1-3	75	B3	熱源機室用ボイラー	※22撤去
	1-3	75	B4	熱源機室用ボイラー	※22撤去
	1-2	30	B4	ボイラー制御盤	※22撤去
	1-3	30	B4	ボイラー制御ファン	※22撤去
AC400V R19 一機出力 CVT22n	1-3	75	B5	熱源機室用ボイラー	※22撤去
	1-3	75	B5	熱源機室用ボイラー	※22撤去
	1-2	30	B5	ボイラー制御盤	※22撤去
	1-3	30	B5	ボイラー制御ファン	※22撤去

更新後

制御盤名称	記号	電圧	電流	電機設備記号	負荷名称
【2P-2S】 AC400V R19 一機出力No. 2 CVT22n	1-3	75	B1	熱源機室用ボイラー	
	1-3	75	B1	熱源機室用ボイラー	
	1-2	30	B1	ボイラー制御盤	
	1-3	30	B1	熱源機室用ボイラー制御盤	
AC400V R19 一機出力No. 2 CVT22n	1-3	75	B3	熱源機室用ボイラー	※22新設
	1-3	75	B4	熱源機室用ボイラー	※22新設
	1-2	30	B4	ボイラー制御盤	※22新設
	1-3	30	B4	ボイラー制御ファン	※22新設
AC400V R19 一機出力 CVT22n	1-3	75	B4	熱源機室用ボイラー	※22新設
	1-3	75	B4	熱源機室用ボイラー	※22新設
	1-2	30	B4	ボイラー制御盤	※22新設
	1-3	30	B4	ボイラー制御ファン	※22新設

注) F : 1=MCB, 2=ELB, 3=接地  
P : 分岐  
AF : フレーム容量  
L : 漏れ電流  
V : 電圧  
W : 電線

改修範囲

注記 1. 機器付帯配管・配線等はメーカー工事とする。  
2. コンセントの取付高さは監督員の指示による。